

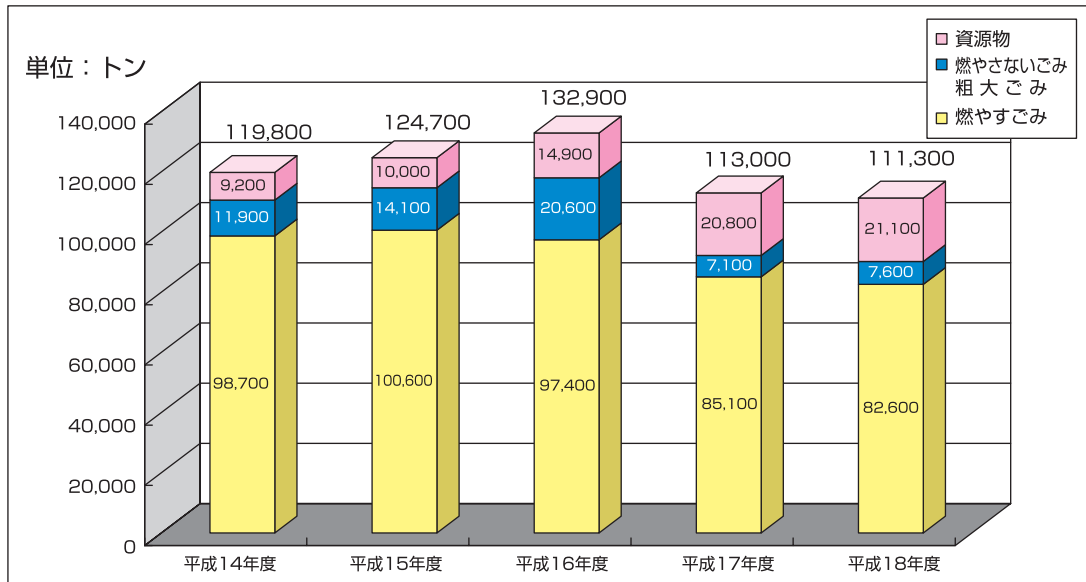
長岡市のごみの現状 ごみと資源物の処理には、 市民一人当たり年間約1万2千円もかかっています！



【ごみと資源物の量】

平成18年度の長岡市のごみと資源物の総排出量は約111,300トン、市民一人当たりには換算すると毎日1,083グラムのごみと資源物を出したことになります。

総排出量は、前年度から1,700トン減りましたが、燃やさないごみと粗大ごみは逆に500トン増えています。リデュース（発生抑制）とリユース（再使用）を心がけましょう。

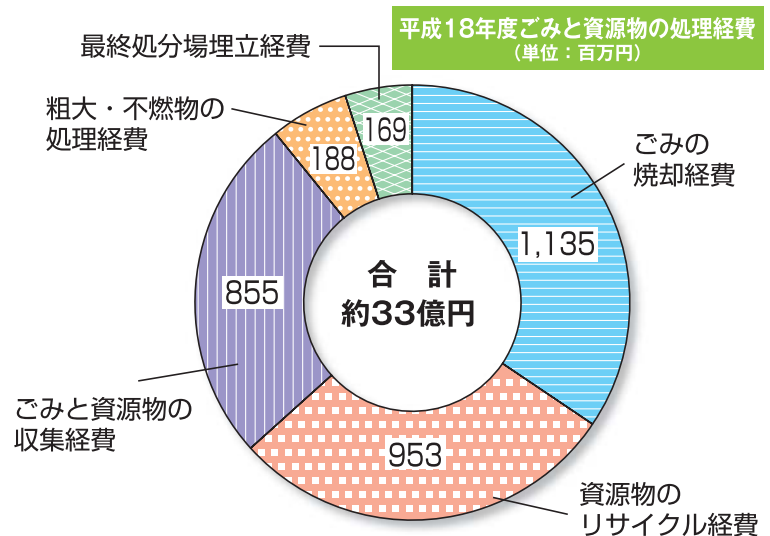


【ごみと資源物の処理経費】

平成18年度の長岡市のごみと資源物の処理経費は、約33億円です。

市民一人当たりには換算すると1年間で約1万2千円もかかっていることになります。

なお、この処理経費には、ごみ処理施設の建設費は含まれていません。ごみ処理施設を建設するときに借りた資金の返済分を加えると、処理経費は約48億円にも達し、市民一人当たりでは約1万7千円にもなります。



【長岡・越路・三島地域の家庭ごみ一部有料化で得られた収入の使途】

平成18年度の長岡・越路・三島地域の指定袋と粗大ごみ処理券の売上げは約2億9,800万円で、そこから指定袋等の作成・販売委託料などの経費を除くと、約2億2,400万円の収入となりました。

右のグラフのとおり、家庭ごみの一部有料化により得られた収入は、すべてごみの減量とリサイクルの推進経費に充てています。

